

# 学級力向上プロジェクト

## ～よい学級に向けてのホップ・ステップ・ジャンプ作戦～

### 1 はじめに

本校は、平成23～24年度の2年間、山梨県学力向上パイロットスクール事業の指定校として、活用学習と学級力向上プロジェクトの二領域に関わって研究を進めてきた。25年度からは研究の成果を活かし、さらによりよい授業や活動を考えて改善や深化を図ってきた。山梨市でも同様のとりくみをしており、今年度がまとめの年度となる。

### 2 題材について

3年生はギャングエイジの前期といわれ、いつも活発に行動し、興味や関心が外へと向かう時期である。自分のことが中心だった時期から、友達や周りのことが気になる時期へと発達段階の過程をたどっていく。仲間意識も芽生え、グループや集団で活動することも多くなっていく。この時期に、友達のよいところ、頑張りや努力を認めてあげることが、やがては自分自身を認めてもらえることにも繋がることを、この活動を通して気付かせていきたい。

学級力向上プロジェクトは、「スマイルタイム」「スマイルアクション」「学級力アンケート」を一つのサイクルとして捉えている。スマイルタイムでは、レーダーチャートを基に学級の実態を分析し、よりよい学級を目指してとりくみ方を話し合う。スマイルアクションは、児童の発達段階を考慮し、数週間程度を目処にした活動を行う。スマイルアクションの内容については、子どもたちの考えを優先させながらも、その時の学級や児童の実態、学校行事へのとりくみを関連づけて、担任から提案することも考えている。学級力向上プロジェクトは学級全体の力を高めていくと同時に、個々の力を高めていくことも必要になる。学級力と自分力が相互に作用し合い、それぞれの力を向上させていけるような活動としたい。

### 3 学級の実態

男子18名、女子12名、計30名の学級である。パワーいっぱいの子どもたちで大変活動的であり、係や当番活動にも張り切って取り組んでいる。徐々に、自分たちで気付き、進んで活動できるようになってきている。気持ちの優しい子どもたちで、お互いに助け合ったり教え合ったりすることができている。比較的男女の仲もよく、休み時間にはドッジボールや鬼ごっこなどで一緒に遊ぶことが多い。しかし、男子の中にも女子の中にも、友達に対して強い口調や態度に出してしまう児童が数名いる。

学習には、前向きに取り組む児童が多い。挙手による発言は、男子の3分の1ほどの児童たちに偏っている傾向があるが、声かけをすると女子や他の男子も手を挙げるようになってきた。学習用具の忘れ物や家庭学習に関しては、個人的に指導をしている。

学級力向上の活動には、楽しみながら意欲的に活動している。星カード（ほめほめカード）でお互いに認め合い、増えていくことが嬉しい様子である。学級力アンケート後のレーダーチャートも楽しみにしていて、「今度はどうなっているかな。」という声が聞かれるようになってきた。

#### 4 題材の目標

- 学級力向上のために、意欲的に話し合おうとしたり、協力して活動したりしている。  
(関心・意欲・態度)
- 学級力向上のために、計画に沿って考えたり、自分の行動を判断したりすることができる。  
(思考・判断)
- 学級力向上のために、自分の考えを進んで発表したり、友達の考えをしっかりと聞いたりして、活動することができる。  
(表現・技能)
- 学級力向上のための実践を通して、話し合いの必要性やとりくみの内容について理解することができる。  
(知識・理解)

#### 5 題材の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	表現・技能	知識・理解
学級力向上のために、意欲的に話し合おうとしたり、協力して活動したりしている。	学級力向上のために、計画に沿って考えたり、自分の行動を判断したりしている。	学級力向上のために、自分の考えを進んで発表したり、友達の考えをしっかりと聞いたりして活動している。	学級力向上のための実践を通して、話し合いの必要性やとりくみの内容について理解している。

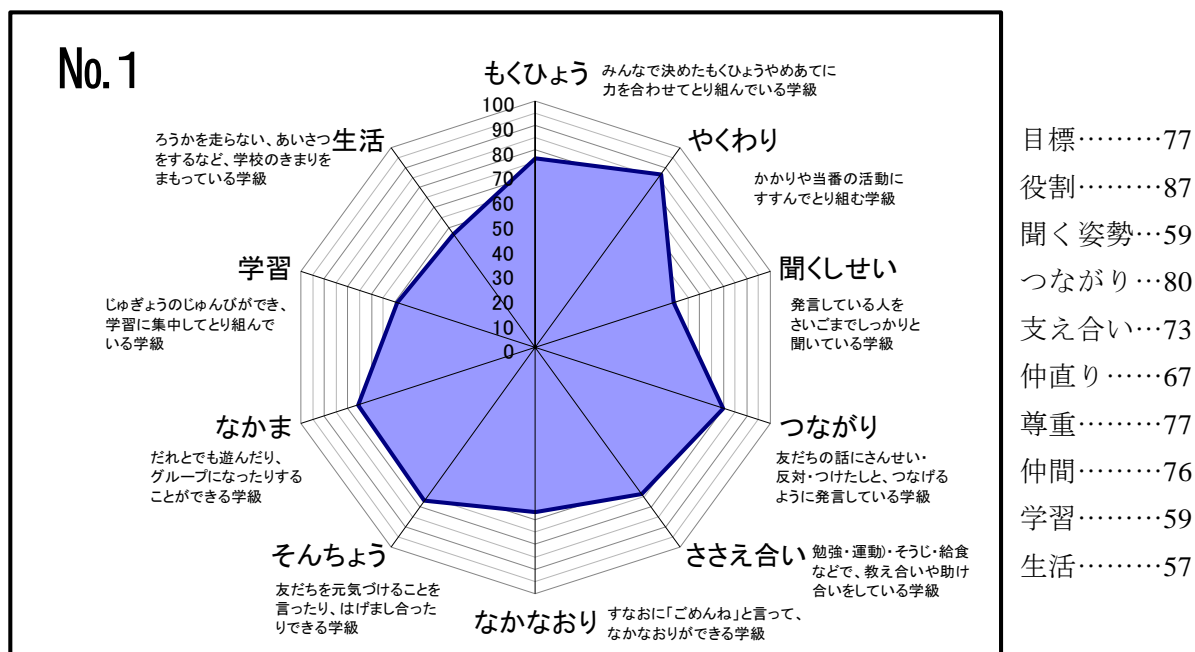
#### 6 指導計画（10時間）

月	主な活動（予想される活動）	時数	指導のねらい
5月	○第1回スマイルタイム ・「よいクラス」について、ビッグカルタに書き出す。 ・項目ごとに分類しながら整理する。	1.5	・よいクラスをつくろうという目標をもたせる。 ・ビッグカルタを用いて、イメージを構造化する。
	○第1回学級力アンケート ・アンケートの内容を説明する。 ・学級について記入することを意識させる。	0.5	・今の学級の状況の評価させる。
6月	○第2回スマイルタイム ・学級力アンケート（1回目）のデータをレーダーチャートで提示する。 ・感想や気づきを発表させる。 ・学級の現状を分析し、伸ばしたい力を決める。 ・具体的なとりくみや行動目標について話し合う。	1	・レーダーチャートから学級の実態を把握し、課題を捉えさせる。 ・学級力向上のためのとりくみを考える。
7月	○スマイルアクション ・星カードの書き方を伝える。 ・行動目標をとらえて、分かりやすく書けているカードを紹介する。	日常	・日常的にとりくみを実行していく。
	○第2回学級力アンケート	0.5	・今の学級の状況の評価

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とりくみを評価しながら記入させる。</li> </ul>		させる。
	<p>○第3回スマイルタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級力アンケート（2回目）のデータをレーダーチャートで提示する。</li> <li>・1回目と比較して、感想や気づきを発表させる。</li> <li>・1学期のスマイルアクションのまとめとして、スマイル新聞づくりに取り組む。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回と今回のレーダーチャートを比較・分析する。</li> <li>・スマイルアクションの結果を検討する。</li> </ul>
8月	<p>○第4回スマイルタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期のとりくみを振り返り、よりよい学級づくりのために伸ばしていきたい力や項目を考える。</li> <li>・各自で頑張り目標を書いたり、発表したりする。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級力向上のためには、自分力も高めることを意識させる。</li> <li>・今後、一人一人が努力することを考えさせる。</li> </ul>
9月	<p>○スマイルアクション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カードを友達に渡す。自分がもらったカードは、個人ファイルに貼っておく。</li> <li>・運動会の練習期間は、色別ごとにスマイルアクションに取り組んでいく。</li> </ul>	日常	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的にとりくみを実行していく。</li> <li>・学校行事（運動会）も利用して、学級力向上への意識化を図る。</li> </ul>
	<p>○第3回学級力アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とりくみを評価しながら記入させる。</li> </ul>	0.5	・今の学級の状況の評価させる。
10月 ・ 11月	<p>○第5回スマイルタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達からもらったカードの中から、「一番星」を選び、発表し合う。</li> <li>・学級力アンケート（3回目）のデータをレーダーチャートで提示する。</li> <li>・2回目と比較して、感想や気づきを発表させる。</li> <li>・今後のとりくみを確認する。（班での活動）</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回と今回のレーダーチャートを比較・分析する。</li> <li>・スマイルアクションの結果を検討する。</li> </ul>
	<p>○スマイルアクション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各班ごとに頑張り目標を決めて取り組む。</li> <li>・班員全員が目標を達成できたら、次の目標を決めて取り組む。</li> </ul> <p>○第4回学級力アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とりくみを評価しながら記入させる。</li> </ul>	日常 0.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小グループの力を伸ばす。</li> <li>・協力して目標を達成する喜びを味わわせる。</li> <li>・今の学級の状況の評価させる。</li> </ul>
12月	<p>○第6回スマイルタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級力アンケート（4回目）のデータをレーダーチャートで提示する。</li> <li>・3回目と比較して、感想や気づきを発表させる。</li> <li>・2学期のスマイルアクションのまとめとして、スマイル新聞づくりに取り組む。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回と今回のレーダーチャートを比較・分析する。</li> <li>・スマイルアクションの結果を検討する。</li> </ul>
	○スマイルアクション	日常	・日常的にとりくみを実



アンケート結果はレーダーチャートに表し、スマイルタイム（話し合い）で分析した後、今後の活動（スマイルアクション）について話し合った。



レーダーチャート（5月）

レーダーチャートを提示すると、子どもたちから「点が低い」「丸い形が小さい」「やくわりとつながりは点数が高い」「聞く姿勢と学習と生活がへこんでいる」といった様々な気付きが出された。「2年生の時よりも形が小さくなった。」と、去年のレーダーチャートと比べている子どももいた。

そして、今後の活動をどうしていくか、という課題に対しては、ポイントが高かった「やくわり」や「つながり」をもっと伸ばしたいという意見もあったが、多くの子どもたちは、低いところを伸ばしたいという考えだった。そこで、ポイントが50台だった「聞く姿勢」「学習」「生活」の3項目を重点的に伸ばしていく活動をするようになった。

## (2) [6月] … 星カード

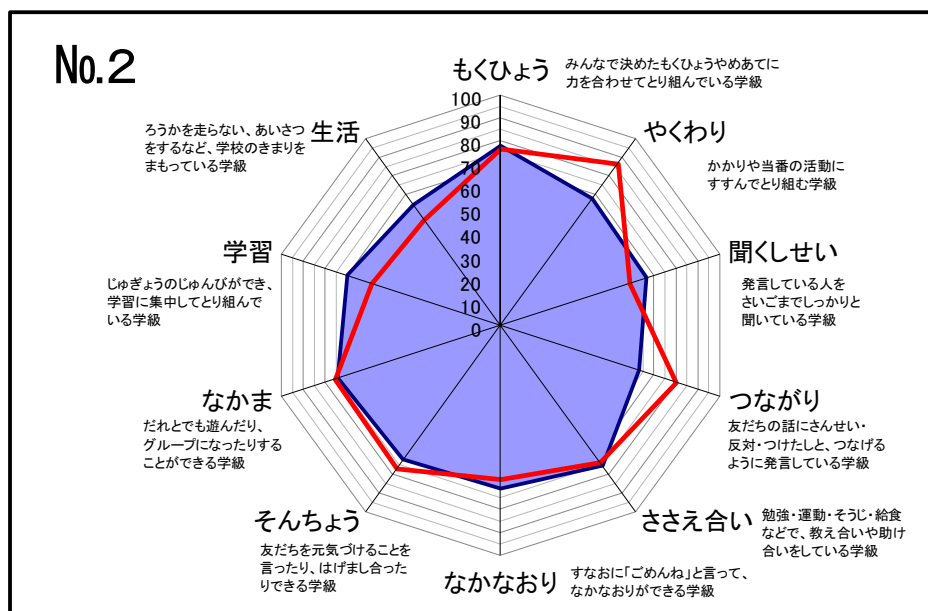
3週間を目処に、1学期のスマイルアクションを‘ホップ作戦’と名付けて取り組みを始めた。3項目それぞれの行動目標を決めて、目標が達成できていた友達に星カード（ほめほめカード）を書いて渡してあげる活動を行った。

◎行動目標		
「聞く姿勢」	「学習」	「生活」
・話している人を見る。	・学習の準備ができています。	・チャイム席を守る。
・黙って聞く。	・集中している。	・廊下を歩く。
・反応しながら聞く。	・むだ口をしていない。	・挨拶をする。

星カードには、日付、行動目標に照らし合わせてできていたことや頑張ったこと、自分の名前を記入するようにした。書く時間は帰りの会の前の5分間とした。最初はどのように書いたらいいのか戸惑っていた子どもたちもいたが、行動目標を見ながら達成できているとこ

ろから書いていくうちに次第に慣れていって、枚数も多くかけるようになった。

全員が星カードをもらえるように、1週間目は隣の友達に書いてあげるようにした。徐々に書いてあげる対象を広げていき、2週間目は班の友達、3週間目は学級の誰にでも書いてよいことを確認した。もらった星カードは、項目ごとに分けた模造紙に貼っていった。「生活」は、重ねて貼るほど多くのカードが集まった。「先生、もう貼りきれないよ。」という声も聞かれた。子どもたちは、星カードが増えていく様子を見て満足した表情だった。



- 目標……………77→78
- 役割……………87→68
- 聞く姿勢…59→67
- つながり…80→63
- 支え合い…73→76
- 仲直り…………67→71
- 尊重……………77→72
- 仲間……………76→74
- 学習……………59→70
- 生活……………57→64

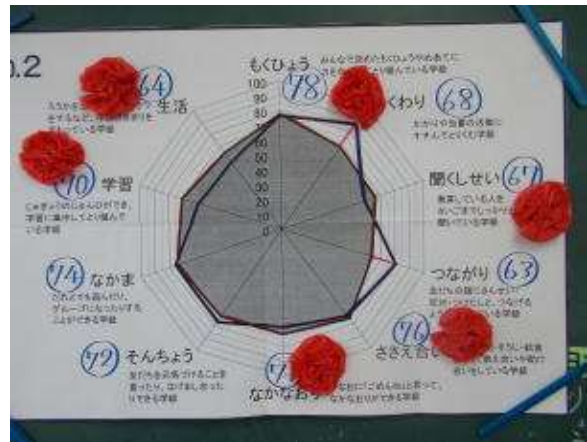
レーダーチャート（7月）

○子どもたちの気付き

- ・星カードで取り組んだ「聞く姿勢」「学習」「生活」が全部伸びた。
- ・80以上だった「役割」と「つながり」が下がった。

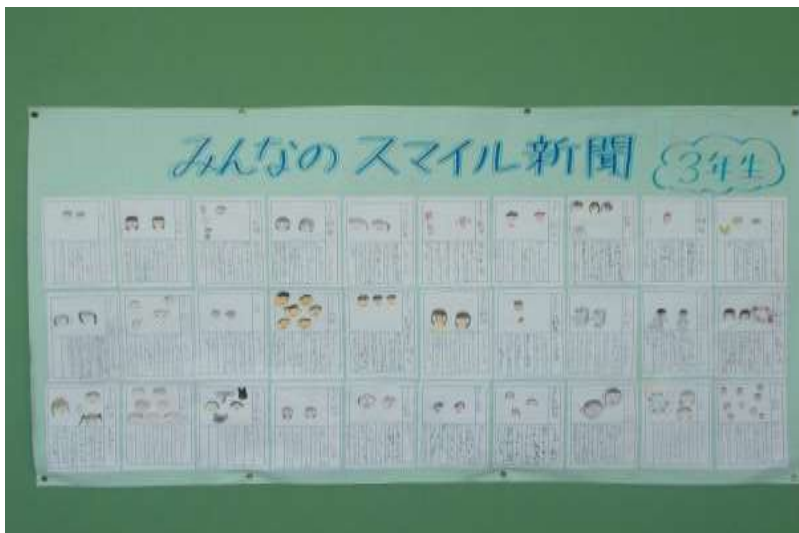
- ・ 6つの項目が上がって、4つの項目が下がった。
- ・ レーダーチャートの形が丸に近づいてきた。
- ・ 全部の項目が60以上になった。      ・ 80以上がなくなってしまった。

〈考察〉ホップ作戦が終わったところで、スマイルアクションを振り返りながら学級力アンケートの結果をレーダーチャートに表した。重点的に取り組んできた3項目の「聞く姿勢」「学習」「生活」は、それぞれ+8、+11、+7とポイントが伸びた。また「目標」と「支え合い」と「仲直り」も伸びていた。伸びた項目には、学級役員の子どもたちに赤い花をつけてもらった。6つも花がつけられ、形もバランスのよい丸に近づいてきたので、みんな喜んでいた。



しかし、4つの項目はポイントが下がってしまい、残念がる様子も見られた。特に、5月は高かった「役割」と「つながり」が、-19、-17と大きく減ってしまった。減った理由としては、「聞く姿勢」「学習」「生活」の3つの項目に重点的に取り組んだため、他の項目へのとりくみが多少疎かになってしまったこと、「役割」と「つながり」は元々80以上でポイントが高く、油断したことが考えられる。子どもたちからも、「3項目を頑張りすぎて、あとの項目が頑張れなかった。」という声が上がった。また、「役割」は、「係や当番の活動に進んで取り組む学級」となっていて、進んでできなかったから下がってしまった、と分析していた子どもたちもいた。

### (3) [7月] … スマイル新聞



#### 1学期のまとめとして取り組んだスマイル新聞

はがきくらいの大きさの画用紙に、絵と文で1学期のスマイルアクションの感想を書いた。ポイントが伸びた項目がたくさんあって嬉しかったこと、下がってしまった項目があって残念だったこと、2学期に頑張りたいことなどが書かれていた。

## 【2学期のとりくみ（ステップ作戦・その1）】

### （1）〔8月〕… 決意表明カード

2学期の最初は、各自が「自分の頑張り目標」を立てることからスタートした。1学期末のレーダーチャートを見ながら、よりよいクラスにするために自分は何を頑張るのか、10項目の中から1つ選んで理由を書く活動を行った。項目を決めることはすぐにできたが、理由を書く段階で、選んだ項目は自分の力がまだ十分でないからという理由が書けた子どもたちと、選んだ項目はポイントが低いからという理由を書いた子どもたちがいて、個人差が見られた。学級力を上げるために、各個人の自分力を上げる‘ステップ作戦’のとりくみを始めた。



目標（2人）	役割（7人）		
聞く姿勢（5人）	つながり（8人）		
仲直り（1人）			
尊重（2人）	仲間（3人）	学習（1人）	生活（1人）

決意表明カード

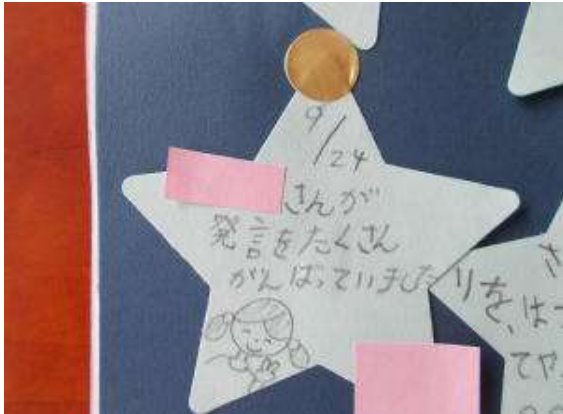
### （2）〔9月〕… 自分力向上・個人ファイル

運動会の練習が始まったが、同時にスマイルアクションにも取りかかった。子どもたちは友達の決意表明を見ながら、頑張っていた友達に星カードを書いて渡していた。今回は、自分が書いたことを読んで友達に渡すようにした。そして、もらった星カードは、個人のファイルに貼っていくようにした。自分の星カードが増えていくことを、子どもたちはとても喜んでいて。



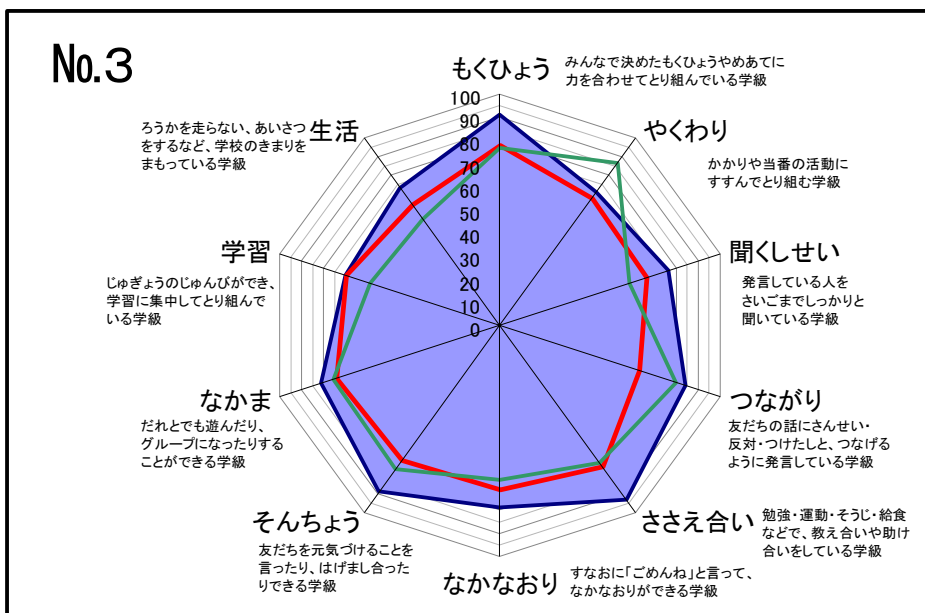


## 個人ファイル



友達にもらった星カードの中から、自分が一気にいったカードを‘一番星カード’として選び出してもらった。なぜそのカードを選んだのか、理由も付けて全員に発表してもらった。子どもたちは、友達が書いてくれた文章や言葉がとても嬉しかった、と伝えていた。星カードが選ばれた子どもたちも、笑顔で応えていた。

一番星カード



目標……………78→91  
 役割……………68→71  
 聞く姿勢…67→77  
 つながり…63→84  
 支え合い…76→93  
 仲直り……………71→79  
 尊重……………72→89  
 仲間……………74→81  
 学習……………70→70  
 生活……………64→73

レーダーチャート（10月）

### ○子どもたちの気付き

- ・「学習」以外は全部上がった。 ・レーダーチャートの形が大きくなってきた。
- ・「目標」「つながり」「支え合い」「尊重」がすごく伸びた。
- ・「目標」と「支え合い」が90以上になった。
- ・全部の項目が70以上になった。

〈考察〉2学期前半は、自分の頑張り目標を決めて自分力を高める活動と運動会に向けて仲間と協力する活動を行ってきた。同時期に2つのスマイルアクションを行ったので混乱する部分もあったが、様々な項目に目を向けたことで子どもたちは意識しながら意欲的に活動していた。そのために、ほとんどの項目でポイントが伸びた。自分の頑張り目標を「つながり」に決めた子どもたちが最も多かったが、発言を頑張っていた様子が認められた結果ではないかと思われる。また、運動会は4つの色別グループで取り組んだが、「支え合い」「尊

重」を行動目標に挙げていたグループが多かったので、大きな伸びに繋がったと考えられる。

## 8 今までのとりくみの成果

- ・よいクラスを目指して様々な活動をしてきた結果、子どもたちの中に学級をよくするという意欲が高まってきた。
- ・レーダーチャートを提示したことで、自分たちの学級はどの項目がよくて、どの項目に努力が必要なのかという現状が把握しやすくなった。子どもたちも、徐々に分析や比較が的確にできるようになってきている。
- ・各自が頑張り目標を決めて取り組んだが、3年生なりに自分自身のことはよく分かっている、適切な目標を決めることができている。素直に謝ることが苦手なAは、「仲直り」の項目を唯一選んでいた。2年生といざこざがあった時、素直に謝っていたことを伝えようと、大勢の友達がAに星カードを渡していた。Aは自分の言動が友達に認められたことを、とても喜んでいて。
- ・友達のことによく気付くBは、友達がルールを守っていないとすぐに担任に訴えに来ていた。自分で注意するように伝えようと、「生活」を目標に取り組んでいた友達に廊下を歩くように声をかけていた。子どもたちの中に、友達がしてはいけないことをしていたら注意してあげよう、という気持ちが育ってきた。

## 9 今後の課題

- ・2学期後半は、班活動を中心としたスマイルアクションを行っていく予定である。各自の力を班につなげ、3学期は学級全体へ広げていきたいと考えている。
- ・星カードによる「ほめほめカード」は、子どもたちに定着してきて楽しそうに書き合っているが、何か別の活動も考えていきたい。
- ・話し合い活動のスマイルタイムは、レーダーチャートの分析・比較と今後のとりくみを決めるので、ある程度の流れはできている。担任が指導する部分と子どもたちに任せる部分を見極めていく必要がある。スマイルアクションも、子どもたちのアイデアを活かせるようにしていきたい。

## 10 おわりに

3年生になって半年が過ぎ、学級としてのまとまりも出てきた。30人は誰もが大切な存在であり、お互いに認め合える学級を目指して行ってほしいと願っている。小さないざこざは毎日あるが、自分たちでどんな話し合いをして、どのように解決していくか考えて行動する力もつけていってもらいたい。

教室には、半年間の学級力向上プロジェクトの足跡であるビッグカルタ、星カード、スマイル新聞、各自の頑張り目標、3枚のレーダーチャートが掲示してある。学級力向上プロジェクトは、今よりもよい学級づくりのための一つの方法であるが、残りの半年間も子どもたちと一緒に楽しく活動していきたいと思っている。